

令和4年度 清須市地域包括支援センター事業報告

1. 年間相談実績

①相談件数 ⇒ 延べ件数：16,351件 ※昨年度比で約47.8%（5,291件）増加

◆地区別件数

地区	西枇杷	新川	清洲	春日	その他	合計
件数	4,353	4,406	5,764	1,673	155	16,351

◇うち新ケース地区別件数：1,083件 ※昨年度比で約12.7%（122件）増加

地区	西枇杷	新川	清洲	春日	その他	合計
件数	261	298	324	118	82	1,083

◇うち新ケース相談形態種別：1,083件 ※昨年度比で約12.7%（122件）増加

種別	電話	訪問	来所	メール・fax	合計
件数	782	32	265	4	1,083

2. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

①相談実績 ⇒ 延べ件数：16,680件 ※昨年度比で約75.0%（7,147件）増加

◆相談内訳

	内容	合計		内容	合計
1	介護保険申請代行	178	14	医療機関との連携・会議	938
2	基本チェックリスト実施	111	15	介護者への相談・支援	1,142
3	介護保険サービス	2,499	16	認知症に関する相談	975
4	介護予防・生活支援サービス	1,912	17	精神疾患に関する相談	376
5	一般介護予防事業	199	18	栄養・口腔に関する相談	37
6	医療保険サービス	659	19	ペットに関する相談	18
7	障害福祉サービス	178	20	仕事に関する相談	31
8	清須市独自サービス	651	21	住まいに関する相談	217
9	インフォーマルサービス	163	22	安否確認	191
10	施設入所に関する相談	540	23	家族に関する相談	422
11	福祉用具	1,637	24	在宅医療	184
12	住宅改修	1,028	25	その他の相談	1,554
13	ケアマネ調整・引き継ぎ	840			

◆各種事業参加者への継続的なフォロー

	実施内容	件数
1	家族介護者交流カフェ参加者への相談・支援	66

②実態把握

	実態把握の実施内容	把握及び対応
1	サービス未利用者の把握と支援、民生委員・近隣住民・市などからの相談による把握と支援	683

③PR・広報

項目	内容
社協だより「てとて」への記事掲載 ※6月、10月、2月（年3回）	地域包括支援センターの2拠点化による担当地区変更の案内を掲載し、周知・啓発を図った。また、事業の案内を掲載し、参加者募集を呼びかけた。
社協ホームページの活用 ※定期更新、随時更新	ホームページに2拠点化による担当地区及び事業の案内や報告を随時アップし、タイムリーな情報提供に努めた。
市広報への記事掲載 ※事業案内	地域包括支援センターの2拠点化、家族介護者交流カフェ、リフレッシュ事業、介護講座等の市民向け事業の案内を掲載し、参加者募集を呼びかけた。
介護予防カレンダーの作成・配布 (1,000部)	自宅で取り組める介護予防体操を掲載したカレンダーを作成し、高齢者世帯へ広く配布・啓発を行った。
各種団体・地域支え合い会議等へのセンター2拠点化PR	各地区の民生児童委員連絡協議会・ブロック社協・寿会や地域支えあい会議に参加し、地域包括支援センター2拠点化の説明・PRを行った。
地域包括支援センターマグネットの作成・配布 (4,000枚)	各センター啓発の一環として、担当地区・連絡先を記載したマグネットを作成し、支援が必要な高齢者世帯への配布を行った。

④福祉出前講座等への包括職員派遣と協力機関

団体名	開催日	内容
清須市議会 新世代	令和4年7月13日(水)	認知症サポーター養成講座
新川第4ブロック社協	令和4年7月16日(土)	いきいきご近所交流会
松原ブロック社協	令和4年9月29日(木)	福祉学習会
上の切ボランティアひまわり	令和4年12月20日(火)	認知症サポーター養成講座
西田中・弁天ブロック社協	令和5年1月21日(土)	介護保険制度について

(2) 権利擁護業務

①相談・対応実績 ⇒ 延べ件数：921 件 ※昨年度比で現状維持（+1 件）

◆相談内訳

	内 容	件 数(延数)
1	お金に関する相談（金銭的な困窮など）	376
2	成年後見制度・日常生活自立支援事業・身元保証などに関する相談	255
3	高齢者虐待に関する相談	279
4	消費者被害	11

②高齢者虐待への対応

◆高齢者権利擁護連絡調整会議の開催：11 回開催

※高齢福祉課と包括とで実態把握及び情報共有を行い、対応について協議していくために開催

	高齢者虐待への対応内容	件 数(実数)
1	令和 4 年度 新規ケースの受付及び対応等	10
2	令和 3 年度以降の継続ケースへの対応等	2

◆高齢者虐待防止ネットワーク協議会への参加

開催日	令和 5 年 2 月 8 日（水）午前 10 時～11 時
議 事	① 高齢者虐待防止ネットワーク協議会について ② 令和 4 年 1 月～12 月の相談通報実績について ③ 高齢者虐待対応事例の紹介 ④ 高齢者虐待通報先の周知について

③専門機関との連携

◆弁護士との連携：令和 4 年度実績 1 件

◆リーガルサポートあいちく司法書士>との連携：令和 4 年度実績 2 件

◆くらし・しごとサポートセンターとの連携

⇒個別ケースの情報を共有し、連携を図るため「生活困窮者自立相談支援事業調整会議」（月 1 回実施）に参加

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 関係機関との連携体制の構築

◆ 関係機関との連携

関係機関	連携の内容
民生児童委員連絡協議会	地域の高齢者や家族等からの相談を受けた時や心配な高齢者を発見した時に、地域包括支援センターに連絡をいただき、必要に応じて一緒に訪問するなど、連携して対応を行った。
西名古屋医師会	定例開催の「地域ケア個別会議」に毎回アドバイザーとしてご参加いただき、事例検討を通じて、医師の立場から様々なアドバイスをいただくことができた。
西春日井歯科医師会・ 歯科衛生士会	「地域ケア個別会議」にアドバイザーとしてご参加いただき、口腔観察シートを元に歯科医師の立場から様々なアドバイスをいただくことができ、多職種連携の推進につながった。
西春日井薬剤師会	「ポリファーマシーによる予防」について、社協だよりへの連載にご協力いただき、広く市民へ啓発を行うことができた。 「地域ケア個別会議」にご参加いただき、薬剤師の立場から様々なアドバイスをいただくことができた。また、介護支援専門員や介護サービス事業者等に、薬剤師の仕事について知っていただく機会となり、多職種連携の推進につながった。
清須市高齢者見守り活動協力事業者	清須市と「高齢者見守り活動協定」を締結している事業者より、「新聞が溜まっている」「何度も通帳を紛失していて心配」など、気になる方の情報をいただき、高齢福祉課と連携を図り対応を行った。
ケアまる会きよす	地域包括支援センター主催の「地域ケア個別会議」「多職種研修会」等、事業の開催にあたっては、参加者への声かけ等にご協力をいただき、双方で協力し合いながら連携を深め、情報共有や交流を図ることができた。
きよすデイサービス事業者会（休会）	休会中ではあるが、「地域ケア個別会議」「多職種研修会」にご参加いただき、各事業者の立場から率直なご意見をいただくことで多職種連携の推進を図ることができた。
清須市リハビリテーション連絡協議会	「地域ケア個別会議」「多職種研修会」にご参加いただき、リハビリ専門職の立場から様々なアドバイスやご意見をいただくことができた。 また、令和3年度から市の新規事業で始まった「清須市リハビリテーション専門職派遣事業」について、代表者と意見交換・連携を密に行うことで、事業の円滑な実施、活用ができた。
尾張中部訪問看護ステーション連絡会	「地域ケア個別会議」「多職種研修会」にご参加いただき、在宅医療・介護の連携の観点から、ターミナルケア、認知症介護等の医療依存度の高いケースへのアドバイス・ご意見をいただいた。また、事例検討を通じて、訪問看護の活用方法・連携時の留意点等の意見交換を行うことができ、多職種連携の強化につながった。

②介護支援専門員の活動支援

◆相談援助及び助言 ⇒ 相談件数：718件 ※昨年度比で約27%（154件）増加

【主な相談内容】

- 介護認定の更新が近づき、要介護→要支援へ変更が想定されるケース。サービス調整が間に合わないため、早期に更新申請していたが、新規申請や更新申請の数が多いようで、介護認定結果が出るのが遅くなりそう。どうしたらよいか？
- 本人及び家族よりゴミ出しの依頼を受けたケース。ゴミ置場まで持って行くことができない。ゴミ集積所は収集時間が早く、ヘルパーでは時間的に対応不可。市にゴミ出し支援を行うサービスはないか確認すると家事サポを紹介されたが、それも時間的に対応不可なため、どうしたらよいか？
- 施設利用後にご本人様の体調が悪化したため、家族が施設側に説明を求めたが、その対応に不信感を抱いているケース。ケアマネとしてどのように対応したらよいか？
- 本人の認知機能の低下が進んでいるケース。家族に対して介護の負担軽減を理由に区分変更を提案したが、難色を示している。どうしたらよいか？
- 認知症状が出現した利用者への医療受診方法について相談したい。
- 利用者宅で安否確認を行う際、自宅への立ち入りや警察への連絡、救急搬送の要請などの対応方法をどうしたらよいか？
- 生活保護受給者の施設入所について、どのような施設が対象となるのか確認したい。
- 集中リハビリサービスを利用し、卒業後は地域の体操教室に参加していたが、体操教室が中止となってしまった。他に参加できるものはないか？
- 要支援認定を受けている方が、市外へ転出したり、市外の有料老人ホームに入居したりする場合、転出先の地域包括支援センターとどのように関わったらよいか？
- 孫と同居している高齢者が、訪問介護サービスの生活援助を利用することは可能か？
- アルコール依存症利用者の支援方法について教えてほしい。

③介護支援専門員研修

◆清須市の高齢者福祉事業等説明会

開催日	令和4年4月27日～レインボーネット・E-mailへの資料送付による書面開催
内容	清須市役所 高齢福祉課・社会福祉課・健康推進課・地域包括支援センター・清須市社会福祉協議会が所管する各制度・事業の説明資料
対象者	居宅介護支援事業所、医療機関、介護サービス提供事業者

◆ケアマネジャー研修会

開催日	令和4年9月20日（火） ★参加者：46人
内容	「災害に備え介護支援専門員としてできることを考える」 講師 小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 田中秀治氏 清須市役所 危機管理課 防災専門官 長谷川 誠氏 清須保健所 健康支援課 保健師 岡田 絵里香氏
対象者	清須市民のケアプランを作成している居宅介護支援事業所の介護支援専門員

3. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

①地域ケア個別会議の開催

◆定例開催

※第1回～第3回：レインボーネットでのオンライン開催、第4回：対面開催

第1回	テーマ	「身寄りが近くにいない認知症独居の方の生活支援について」 (参加者：93人)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居。実子なし。兄弟姉妹は遠方であり、高齢のため本人の支援は困難である。近くに頼れる親族もなく、親族で身元保証はできない。 ・難聴のため電話でのやり取りはできない。 ・転倒以降、もの忘れが徐々に進み、身の回りのことができなくなった。 ・年金だけでは現在の生活が厳しく、預貯金を切り崩している。民間の身元保証をつけるとさらに失費がかさむ。
第2回	テーマ	「本人が居酒屋に通うことで家計が苦しくなり、家族が家を手放すことを検討している方への支援」(参加者：70人)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は、脳梗塞や膝関節症の既往歴があるが、助けられながらも週2回居酒屋に通っている。 ・居酒屋の雰囲気がよく、居酒屋に通うことが生きがいとなっているが、金銭管理ができず、ツケで飲んでしまったり、周囲の人にもおごってしまったため、家計が苦しくなっている。 ・お酒が好きで以前から毎日飲酒する生活。アルコールを継続して摂取することで、内臓への負担や認知機能への影響も懸念される。 ・認知症がある妻と2人暮らし。別居の子どもが3人いるが、家族間で十分な話し合いができていない。
第3回	テーマ	「収集場所までゴミ出しが困難でも、住み慣れた地域で一人暮らしを続けたい歩行不安定な女性」(参加者：64人)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前が坂道で、敷地と道路の境目に段差があり、歩行器を使用しても一人でゴミ出しができない。 ・現在の地域で生まれ育ち、周辺住民に対してプライドがあり、近所の人や親戚に頼ることができない。 ・夫が交通事故で他界し、気分の落ち込みがあり、事故以降、車や散歩に恐怖心がある。 ・自分でゴミ出しを行った場合、転倒による骨折のリスクは高い。
第4回 令和5年2月24日(金)	事例①	「認知症の母と、がん闘病中の息子が、在宅での共同生活を継続していくための支援体制づくり」(参加者：55人)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と長男が同居。三男が近隣に住む。2人の息子が本人のお金を当てにしており、金銭搾取やネグレクトにつながる可能性がある。 ・包括に相談が入った時点で、1年近く家賃を滞納していた。 ・認知症があり、要介護状態の本人が長男の闘病生活を支えている。 ・長男と一緒に暮らすことで安心感や役割があり、本人にとっては良い面もあるが、病状悪化に伴い不安や負担が増強すると推測される。 ・本人は認知症があるため、自身の生活や長男の病気のことを理解できていない。 ・本人が利用している介護事業所へ三男が昼夜問わず頻回に電話をし、サービス利用を妨害する行為がある。

	事例②	「認知症の母と、がん闘病中の息子が、在宅での共同生活を継続していくための支援体制づくり」(参加者：55人)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は末期がん。急激に状態変化、疼痛が悪化する可能性が高く、対応が困難になっていくと推測されるが、がんのペインコントロールは今の家族状況では困難と推測される。 ・本人は病識と理解力が乏しく、自身の病気と母親の病気への理解をどう促していくかが課題。また、母親に依存的。 ・家族関係は良くない。 ・本人に浪費傾向があり、金銭管理に不安がある。
ケースから見える普遍的な課題	本人・家族	<ul style="list-style-type: none"> ・独居。日常的に支援してくれる身寄りがいない。 ・高齢者世帯で夫婦ともに介護が必要 ・無職の子と要介護状態の本人が同居。 ・家族に支援拒否やネグレクト、金銭搾取の疑いがある。
	病気・障害	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、膝関節症、脳梗塞の後遺症による高次脳機能障害、アルコール依存による認知機能低下等の疾病がある。 ・残存歯が少なく義歯も不使用で、咀嚼能力の低下がある場合、バランスが崩れた際に転倒・骨折のリスクが高くなる。 ・介護者ががんや認知症などの病気を患っている。
	生活環境面	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の悪化で金銭管理や家事ができない。身元保証人がいない。 ・身体が不自由でゴミ出しができない。ゴミ出しの支援体制が整っていない。
	地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の生きがいとなるような居場所が少ない。 ・成年後見制度等の決定まで時間がかかる。 ・他市で行われているゴミ収集支援は、清須市では行われていない。
	支援者の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族等の過度な要求によるケアマネジャーの負担が増加。 ・「ゴミ出し＝地域のボランティア」の調整は現実的には難しい。 ・身寄りのいない人や家族の支援が望めない人に対して、身元保証や金銭管理を導入するタイミングが難しい。

◆随時開催：7回（7ケース）

●世帯構成

区分	R4年度
独居又は実態として独居	2件（2ケース）
高齢者世帯	0件（0ケース）
家族と同居	5件（5ケース）
合計	7件（7ケース）

●日常生活圏域

区分	R4年度
西枇杷島地区	0件（0ケース）
清洲地区	5件（5ケース）
新川地区	2件（2ケース）
春日地区	0件（0ケース）
合計	7件（7ケース）

●検討事項

内訳	R4 年度
権利擁護（成年後見、金銭管理、身元保証、虐待、利用料金の未納）	3 件（3 ケース）
終末期の調整（サービス・亡くなった後のことなど）	1 件（1 ケース）
今後のサービス調整（在宅・施設）情報共有、介護者や支援者の役割分担	7 件（7 ケース）
合 計	11 件（7 ケース）

②多職種研修会の開催

開催日	令和 5 年 3 月 16 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分 ★参加者：60 名
テーマ	「高齢者を支える生活支援サービスの現状と課題を考える」
第 1 部	説明：「相談実績にみる独居・高齢者世帯における生活支援サービスの現状と課題について」 清須市地域包括支援センター 柴垣 智子 説明：「清須市における高齢者の生活を支える生活支援サービスの取り組みについて」 清須市役所高齢福祉課介護予防係 青山 智之 氏
第 2 部	説明：「高齢者の生活を支えるインフォーマルサービスの紹介」 ①株式会社ツジ薬局 ②中日新聞清須北部専売株式会社あだち新聞店 ③特定非営利活動法人 さくらの風 ④株式会社ベンリーコーポレーション ⑤ヤマト運輸株式会社
対象職種	医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、事務職など

③清須市オレンジサポートチーム（清須市認知症初期集中支援推進事業）との連携

総合相談等で、認知症に関連する相談を受け、オレンジサポートチームの対象者であると判断した場合に、地域包括支援センターで訪問支援対象者として受付を行い、清須市から委託を受けている清須市オレンジサポートチーム（五条川リハビリテーション病院内）へ対応を依頼し、同行訪問したり会議に出席したりするなど、連携を図り対応を行った。また、チーム員会議として毎月定例会議を開催し、地域包括支援センターで相談対応を行ったケースの報告と、依頼ケースの協議を行った。

実施内容	件数
チーム員会議（毎月開催）	11 回
相談・報告数	86 件
新規依頼件数	2 件

④重層的な相談支援体制の整備に向けての取り組み

- ◆健康推進課主催の「清須市ひきこもり支援ネットワーク会議」への参加 年3回
- ◆清須市社協相談支援ネットワーク会議における社協部署間での連携強化 年4回

4. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）について

①介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに関する相談 ⇒ 延べ件数：7,608件

※昨年度比で約20.7%（1,304件）増加

②新規利用者数（契約件数）⇒ 実件数：224件 ※昨年度比で約12%（24件）増加

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
直接分	総合福祉C	3	2	3	3	4	4	2	5	0	3	0	2	31
	さわやか	4	5	5	1	2	5	7	2	4	2	7	3	47
	小計	7	7	8	4	6	9	9	7	4	5	7	5	78
委託分	総合福祉C	4	10	7	6	3	9	1	5	7	6	1	4	63
	さわやか	4	7	16	8	2	5	10	2	5	10	7	7	83
	小計	8	17	23	14	5	14	11	7	12	16	8	11	146
合計		15	24	31	18	11	23	20	14	16	21	15	16	224

<要介護度の内訳>

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
事業対象者	総合福祉C	2	2	2	1	4	0	0	3	0	1	0	0	15
	さわやか	1	3	4	2	0	2	4	1	2	1	3	1	24
	小計	3	5	6	3	4	2	4	4	2	2	3	1	39
要支援1	総合福祉C	0	3	3	3	1	3	0	3	4	0	1	2	23
	さわやか	2	4	5	1	2	4	2	1	3	7	3	1	35
	小計	2	7	8	4	3	7	2	4	7	7	4	3	58
要支援2	総合福祉C	5	7	5	5	2	10	3	4	3	8	0	4	56
	さわやか	5	5	12	6	2	4	11	2	4	4	8	8	71
	小計	10	12	17	11	4	14	14	6	7	12	8	12	127
合計		15	24	31	18	11	23	20	14	16	21	15	16	224

③介護予防支援費・介護予防ケアマネジメント費請求件数（給付管理を行った数）

⇒ 延べ件数：6,302件 ※昨年度比で約0.2%（13件）減少

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
介護予防支援費	総合福祉C	138	144	140	142	141	143	146	137	150	157	146	142	1,726
	さわやか	210	214	224	223	208	210	214	207	201	206	208	206	2,531
	小計	348	358	364	365	349	353	360	344	351	363	354	348	4,257
	うち委託													
	総合福祉C	69	76	74	78	77	83	85	81	88	94	86	91	982
	さわやか	118	118	131	131	117	120	124	122	120	124	122	124	1,471
ケアマネジメント	総合福祉C	67	67	70	69	75	76	69	71	67	64	64	60	819
	さわやか	98	95	93	100	101	99	107	108	104	111	104	106	1,226
	小計	165	162	163	169	176	175	176	179	171	175	168	166	2,045
	うち委託													
	総合福祉C	22	23	24	25	24	30	26	27	25	24	25	23	298
	さわやか	43	42	44	48	47	46	48	48	49	52	46	55	568
合計	総合福祉C	205	211	210	211	216	219	215	208	217	221	210	202	2,545
	さわやか	308	309	317	323	309	309	321	315	305	317	312	312	3,757
	小計	513	520	527	534	525	528	536	523	522	538	522	514	6,302
	うち委託													
	総合福祉C	91	99	98	103	101	113	111	108	113	118	111	114	1,280
	さわやか	161	160	175	179	164	166	172	170	169	176	168	179	2,039

④業務委託先一覧と委託者数（延べ件数）

◆委託先 45事業所

◆委託件数（延べ件数）：3,319件 ※昨年度比で約10.9%（326件）増加

◆委託先内訳

（順不同）

委託先事業所	件数	委託先事業所	件数
ライフケア居宅介護支援事業所	129	福寿想居宅介護支援事業所	157
ゆうケアプランセンター	40	株式会社福祉の里 名古屋鳴海営業所	12
福神	23	介護支援センター花咲	272
西春日井福祉会居宅介護支援事業所	298	あすかケアプランセンター	10
たんぼぼ居宅介護支援甚目寺	30	海部東部介護介護支援センター	8
庄内の里介護支援センター	35	ケアプランハウスゆう	68
五条川居宅介護支援事業所	66	ケアプランはるひ	188
ケアプラン ひまわり	111	はなさきクリニックケアプランセンター	113

委託先事業所	件数	委託先事業所	件数
清須市社会福祉協議会ケアプランセンター清須	219	清洲ケアマネ事業所	128
株式会社福祉の里 清須	500	あま居宅介護支援事務所	15
愛ケアプランセンター	24	ケアプランセンター バルデ岐阜中央	7
ケアマネージメントセンター アイビー	195	愛ケアプラン	12
ケアプランすずき	25	ほのぼのあま指定居宅介護支援事業所	12
ケアプランふれあいサービス	12	ケアプランセンターアグレ堀越	6
介護支援センター やわらぎ	15	あしたば居宅介護支援事業所	23
じゃがいも北名古屋介護支援センター	1	ケアプランセンターラビット	9
しかつケアサービス	6	宝会指定居宅介護支援事業所	14
ティアレ介護支援ステーション	129	居宅介護支援事業所かなめ	57
介護相談センターあゆ	190	山田指定居宅介護支援事業所	14
やまと介護サービス	12	サラダ居宅介護支援事業所	12
緑の家けあぷらん名西	7	緑の家けあぷらん清須	85
あすかビレッジ	2	ふくケアプラン	20
あいあけありんぐ	8		

⑤介護予防・日常生活支援総合事業の推進に係る取組み

内 容	会議名称	回数
リハビリテーション専門職との情報共有	清須市リハビリテーション専門職派遣事業に関する打合せ会	1回
介護予防・日常生活支援総合事業、生活支援体制整備事業等の進捗状況報告や情報共有、課題の検討	高齢福祉課、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター 打合せ会	12回

6. 任意事業

(1) 家族介護者交流事業（受託事業）

①介護者リフレッシュ事業

◆事業名：介護者リフレッシュ事業

開催日	令和4年11月15日（火）	★参加者：10名
行き先	西三河・知多方面	
内 容	七福醸造株式会社「ありがとうの里」（碧南市）見学 魚太郎本店（美浜町）にて昼食・買物	

②家族介護者交流カフェ

回数	日時	場所	参加者数
第1回	令和4年4月14日(木) 13:30~15:00	清洲総合福祉センター 第5会議室	介護者2名、 ボランティア1名
第2回	令和4年5月17日(火) 13:30~15:00	新川福祉センター 2階集会室	介護者8名、当事者1名 ボランティア1名
第3回	令和4年6月16日(水) 13:30~15:00	春日公民館 練習室兼小会議室	介護者5名
第4回	令和4年7月13日(水) 13:30~15:00	にしびさわやかプラザ 1階会議室	介護者6名 ボランティア1名
第5回	令和4年8月18日(木) 13:30~15:00	清洲総合福祉センター 第5会議室	介護者4名
第6回	令和3年9月15日(木) 13:30~15:00	新川福祉センター 2階集会室	介護者4名、当事者2名 ボランティア1名
第7回	令和4年10月13日(木) 13:30~15:00	春日公民館 練習室兼小会議室	介護者4名
第8回	令和4年11月17日(木) 13:30~15:00	にしびさわやかプラザ 1階会議室	介護者9名 ボランティア1名
第9回	令和4年12月14日(水) 13:30~15:00	清洲総合福祉センター 第5会議室	介護者6名
第10回	令和5年1月19日(水) 13:30~15:00	新川福祉センター 2階集会室	介護者2名 ボランティア1名
第11回	令和5年2月16日(木) 13:30~15:00	春日公民館 練習室兼小会議室	介護者5名
第12回	令和5年3月15日(水) 13:30~15:00	にしびさわやかプラザ 1階会議室	介護者11名 ボランティア1名

③介護講座

第1回	開催日	令和4年7月14日(木) 10:00~12:00 ★参加者:27名
	場所	清洲総合福祉センター 2階第1会議室
	内容	「認知症の方の基礎理解とケア ~その人の気持ちによりそう~」 講師:きらめき認知症4STAR トレーナー 講師 河内美保氏

第 2 回	開催日	令和4年9月21日（水）10:00～12:00 ★参加者：25人
	場 所	にしびさわやかプラザ 3階研修室
	内 容	<p>「高齢者施設の選び方 ～どこで最期を迎えるか～」</p> <p>講師：アサヒサンクリーン株式会社 施設介護事業部 執行役員部長 講師 小川晴生氏</p>

7. その他

- (1) 車いす貸出事業（社会福祉協議会事業） ★貸出件数：146件
- (2) 各種研修会及び会議への参加
- (3) 職員会議 ⇒ 毎月1回実施